

# クラックカットシール・クラックシール・目地シール

## 工法の選定

- 1 舗装評価によるひび割れ処理方法の決定
  - ・クラックカットシーリング
  - ・クラックフィリング（クラックシール）
  - ・ジョイントシーリング（目地シール）
- 2 年間における路面温度の把握
  - ・カット幅の選択
  - ・抽入材料の選択



## 3 舗装の評価と仕様の決定

予防保全による舗装修理は舗装の劣化が比較的軽微な状態で実施されるべきです。ひび割れの幅により3mm以下の場合クラックフィリング、3mm以上20mmまではクラックカットシーリングを選択して下さい。またクラックの長さは舗装面積1㎡に対し、1.3mまでがコスト的に有効とされます。

## 4 路面温度によるクラックカットの寸法

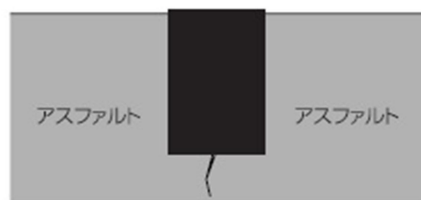
温度幅 (最低温度～最高温度)	幅(最小)	深さ
80℃以下	1.2cm	1.8～2.5cm
86℃	1.8cm	1.8cm
92℃	2.8cm	1.2cm
98℃	3.7cm	1.2cm

### 温度とカット寸法

路面温度はクラックカットをする際重要なポイントです。寒冷地では年間における路面温度の最高温度と最低温度との格差が大きく、そのため温度による伸縮を吸収する必要があります。このためクラックカットの寸法は上表のように温度幅により決定されます。

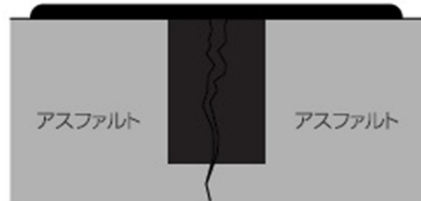
## 舗装の処理方法

### A クラックカットシーリング



ひび割れ部分に道路カッターで幅12mm深さ19mmの溝を切り、シーリング材を溝の部分にのみ充填する

### B クラックカットシーリング+バンドエイド



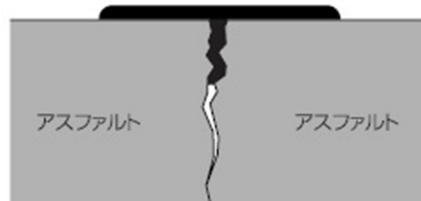
ひび割れ部に道路カッターで幅12mm、深さ19mmの溝を切り、その溝にシーリング材を充填するとともに、溝より幅広く厚み3mm以下、幅50mm以上となるようオーバーバンド状に塗布する。

### C ワイドシーリング+バンドエイド



ひび割れ部に道路カッターで幅28mm、深さ12mmの溝を切り、シーリング材を溝に充填し、溝より幅広く厚み3mm以下、幅50mm以上となるようオーバーバンド状に塗布する。寒冷地用の補修方法です。

### D クラックフィリング（クラックシール）



ひび割れ部にシーリング材のみを厚み3mm以下、幅50mm以上となるよう塗布する。溝は切らない。クラックが3mm以下と比較的小さいときに有効。

### E ジョイントシーリング（目地シール）



セメントコンクリートのジョイント部や、セメントコンクリートとアスファルト部のジョイント(目地)部にシーリング材を注入する。

お問い合わせは



エムケービルド株式会社

販売店・代理店・協力会社

関東事業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 3-602-206  
TEL.048-729-4605 FAX.048-611-9493